

2024年6月21日
九電みらいエナジー株式会社

産学連携の人材育成の枠組み「ECOWIND」に参加します

国は、洋上風力発電を「再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札」と位置づけ、導入を大いに進める方針を示しています。再エネ海域利用法に基づく発電事業者の公募が複数の海域で実施されており、今後更に洋上風力発電に関する市場が拡大されることが予想されます。

※当社は現在、北九州市響灘沖で大規模な洋上風力発電所の建設（22万kW、2025年度中運開予定）を進めています。

一方で、市場の拡大に伴い、人材の確保と育成が大きな課題となっています。そこでこの度、産業界と教育・研究機関が連携して人材育成を進めていくための枠組み「洋上風力人材育成推進協議会（Education Council for Offshore Wind、略称：ECOWIND）」が発足することになりました。本協議会は、（一社）海洋産業研究・振興協会及び有志企業で構成（経済産業省が支援）。当社も有志企業9社の1つとして参加することになりましたので、お知らせします。

今後、学生向けのインターンシップ、学校への出前授業など産業界と教育・研究機関のシーズ・ニーズのマッチングを促す取り組みを行ってまいります。

当社は、再生可能エネルギーの主力電源化、2050年よりできるだけ早期のカーボンマイナスの実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。

（詳しくは、[（一社）海洋産業研究・振興協会のプレスリリース](#)をご覧ください）

以上